

# あおたけ

まきび病院家族会機関紙 事務局：藤井  
〒710-1301 岡山県倉敷市真備町箭田 2387  
TEL (0866) 98-6511 第128号 2007.9  
ホームページアドレス <http://www.ne.jp/asahi/m/0/aotake/>

## 《7月定例会の報告》

7月28日(土)、マインドホールにて自由討議を行いました。11名の方が参加されました。

Aさん/在京して離れて暮らしていたので、病気と気づくのに10年かかった。最近やっとテレビを視聴できるようになった。安定するまで10年はかかっている

入院時、パトカーが家に横付けし大騒動となった。退院後、まだ不安定な状態で家庭での介護をしなければならない。ことがおきないように本人が好きなどころへついていく覚悟を決めた。できる限り本人の期待に沿う行動にあわせる。どこかに行きたいのではなく、今この場所から逃げたい、という思いがあるよう。沿い続けると落ち着いてくる。

Bさん/入会を誘われたが、我が子は違うと信じたくなかった。

障害年金を受け取る時の病名を受け入れなければならないので覚悟を決めた。

Cさん/社会が防衛的になってくる前だったので、まだ退院できる雰囲気地域にあった。自分が病気になったと思えることもあった。家族が崩壊しかかかっているところは発病して当然という条件が備わっている気がする。

Dさん/朝から本人とかみ合わない生活サイクル。親に要求を突きつけたり、本人に望むことはみなさんどんなことがありますか？親に手をあげることはないが…。

Eさん/私が本人を追い詰めることを言っていたなあとと思う。過保護が発病の原因でもないとい医師に言われた。本人・家族とも辛抱強くなってきた。自殺をほのめかすので包丁は隠している。夫婦喧嘩していると仲裁に入るようになった。いつか本人から見られる立場になるので今から自立できるように心がけて接している。



Fさん/発症当時、手足をくくって車で受診。治ると期待が親の側にあった。自分が治ることを期待しなくなってから安定した。

親がうつになったらどうする？

介護は愛情が基盤だと思っている。

Gさん/亡き夫は本人の世話をしていたが、暴力の対象になっていた。

親も自分にも本人にもたくさん望ま

ないことが重要。親も育て方やタイプが違うので。病人の自分があるので家族が成り立っている、と本人がいう。

Hさん/夫婦円満は病気にならない必要条件。エスカレートしてきたら力を示すことも父親には必要。仲間がいれば何とかかなと思う。

Aさん/母親が本人にべったり。本人と会話は続かない。幻聴とはいわないが、「雑音」という表現なら受け入れられる。大学まで進学したので統合失調症とは思わなかった。父親と母親の価値観が違うので本人を見る視点も異なってくる。本人に「家族会に出ても親は何もかわっていない」、と指摘されてしまうけど1日が無事終わってくれて何より、と思うのも本音。

### 《8月定例会の報告》

8月定例会はNPOこころの事務所を借りて自由討議を行いました。初めて会に参加の方もおられ、「自分ひとりで悩んでいたが、他の家族の皆さんに話せて気分が晴れた。入会したい」という感想をいただきました。



### お知らせ

①9月定例会は例年の中国ブロック研修への振り替えが今年度は10月25、26日の岡山での全国大会(会場：岡山シンフォニーホール)への任意参加となります。地元なので大勢のご参加をお願いします。参加された方は交通費、参加費などの領収証を取っていただき、後日事務局へご請求ください。

②10月定例会は「基幹型地域生活支援センターゆう」の見学です。11月1日午後2時が現地到着時刻です。

病院から事務局が車を準備しますが、乗員に限りがありますので、会場お近くの方や、マイカーでお越しいただける方は地図を参考に直接会場(建物玄関)での合流にご協力ください。

交通手段にかかわらず、参加希望の方は必ず事務局に参加希望人数と現地までの交通手段を10月28日までにご連絡ください。



〒701-0212 岡山市内尾739-1

TEL (086) 298-1162